

国際工学教育環境整備と若手教員の海外研修

日野, 伸一
九州大学大学院工学府

<https://hdl.handle.net/2324/19898>

出版情報 : 2011-06-30. 九州大学高等教育機構教育改革企画支援室
バージョン :
権利関係 :

取組名称：国際工学教育環境整備と若手教員の海外研修

部局名：工学府／工学研究院

○取組概要：工学府改組の検討において全専攻にグローバルコースを設置することを決めた。そこで国際工学教育環境の整備が急務と考え、**(1)英語教材資料の収集・開発**、**(2)若手教員の海外工学教育研修**、**(3)異文化理解**について展開した。

● 取組の内容・ポイント

(1)英語教材資料の収集・開発：海外大学での講義ネット配信、Open Course Ware、テキスト採用状況を調査し、先生方への情報提供を行う。⇒工学分野の幅広さゆえに限界⇒個々の教員の教材開発に経済的支援 ➡『英語教材開発支援(1件)』、『書籍「テクニカルライティング」を全専攻に配付』

(2)若手教員の海外工学教育研修：海外での研究研修は多い、教育研修はほとんど無い現状を踏まえ、数多くの先生方に英語での工学教育の在り方を実体験して頂く。⇒適切な研修先は？⇒多くの先生方に広めるには？ ➡『ハワイ大学マノア校での英語による教育海外研修(15名参加, 図1)』、『肥田先生による5G=Iセミナー学内研修(24名参加, 図2)』、『工学府FDでの生物資源環境科学府での取り組み紹介(英語授業の在り方)』、『学府・専攻内FDでの研修受講者による研修内容紹介』

(3)異文化理解：留学生が示す宗教や文化による生活習慣の違いを整理・情報発信し、先生方の異文化理解に努める。⇒留学生の生活習慣の違いからくるトラブル事例等を纏めた書籍や情報検索 ⇒留学生の学習環境支援 ➡『工学系国際交流支援室の設置』、『食文化・食生活の情報を入手配信』、『国際交流会の開催(図3)』、『G30外国人教員とスタッフによる教職員への英語セミナーの開設』



English Interaction with Ms. SuLing Len

図1 ハワイ大学マノア校での研修風景



図2 5G=Iセミナー授業風景



図3 第1回国際交流会にて

● 取組の成果(研修内容)

ハワイ大学マノア校(<http://www.nice.hawaii.edu>)での**海外研修**では、日本人の扱いにも慣れたプロ意識の高い講師(SuLing Len氏)の指導のもと、(1)日本人と英語国民の意思疎通についての違い、(2)分かり易い英語授業とは、(3)適切な英語表現の指摘とその理由、(4)学生を巻き込む講義のノウハウ等、九大のニーズに合わせた内容で講義と模擬授業が行われ、密度の濃いハワイ2週間を過ごして頂きました。

学内研修「5G=I(ご自愛)セミナー」は、「英語による授業方法」というより「聴衆に分かり易いプレゼンテーション法」に重きを置いた研修で、(1)発表前のリラックス法、(2)しっかりした発声法など、(3)英語に限定されないプレゼンテーションの基本について、魅力的な人柄と話の面白さに定評の肥田良夫先生の指導を受けて頂きました。ただ、予め与えられる課題の量が多くて準備に大変だったようです。

● 研修参加者の声

- (1) いずれの研修においても「専門が異なる他部門の先生方と交流ができ、貴重なコメントを聞くことができたことが、有意義であった。」との声が多数、聞かれました。
- (2) ハワイ大学マノア学校での海外研修に参加して、「ネイティブによる講義、特に、学生とのやり取りが多いスタイルの講義を体験する機会を得たことは大変有意義であった。」「今後、国際化していく大学教育において、今回の経験は必ず財産になると考える。この素晴らしいプログラムが再び行われ、多くの教員が享受できることを願う。」などの報告を受けました。